

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者様の試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**臨床研究名称：** 抜管後嚥下障害を有する ICU 患者様における直接嚥下訓練の可否に影響を与える全身状態因子の検討

### 研究の目的

ICU の呼吸不全患者における気管挿管後嚥下障害（PED）は、死亡率や入院期間、医療費の増加を引き起こすことが知られています。ICU では、抜管後の言語聴覚士（SLT）の訓練開始の遅れが嚥下障害や死亡、誤嚥性肺炎と関連していることが明らかとなりました。食べ物を用いる直接訓練は呼吸不全や誤嚥性肺炎の危険性があるため、慎重な判断が必要ですが、その明確な開始基準はこれまで明らかになっていません。本研究では、ICU 入室後に PED を来した患者様に、直接訓練が可能かどうかに影響を与える全身状態の因子を明らかにすることが目的です。

**研究実施期間：** 実施日許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日

**対象となる方：** 2021 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日までの間、ICU で治療中に附属病院リハビリテーション科を受診し、抜管後嚥下障害と診断された方

### 利用させていただきたい試料・情報について

**（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）**

当院のカルテに記録されている情報のうち、患者背景、嚥下訓練介入時の酸素化、重症度スコア、血液検査（血小板、ビリルビン、クレアチニン）、平均血圧、呼吸数、嚥下機能、気管切開術の有無、人工呼吸器管理の期間、入院期間、自宅退院後の嚥下機能を標記研究のために利用します。直接訓練を行った方と行えなかった方の全身状態を表す指標を、統計解析的手法を用いて比較することで、嚥下訓練介入時に食べ物を用いた直接訓練の可否に影響を与える全身状態の因子を明らかにしたいと思っております。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

<b>本件連絡先</b>	リハビリテーション科・氏名 藤田 彩香 連絡先電話番号 0172-39-5473
--------------	--